

教職ガイダンス関係資料の掲載について

教職ガイダンス関係資料をホームページに掲載いたしますので、自分の学年の資料を熟読した上で、履修カルテ入力や履修登録等を行ってください。

なお、3年生、4年生は、別途、対面で教職ガイダンスを行いますので、必ず、参加するようにしてください。

また、2年生は、小学校教員養成プログラムを履修していて教務課から連絡がっている学生、及びK-CIP（Cコース）を履修している学生について、対面でガイダンスがあります。該当者は、各ガイダンスに必ず参加してください。

1年生

- 【資料1】 教職履修カルテの入力について
- 【資料2】 履修カルテ 操作説明書
- 【資料9】 1年生教職ガイダンス 心構え・科目履修

2年生

- 【資料1】 教職履修カルテの入力について
- 【資料2】 履修カルテ 操作説明書
- 【資料3】 教職課程のスケジュール等

3年生

- 【資料1】 教職履修カルテの入力について
- 【資料2】 履修カルテ 操作説明書
- 【資料4】 教育実習について
- 【資料5-1】 教職課程履修要件内規について（2018年度以前に入学した学生用）
- 【資料5-2】 教職課程履修要件内規について（2019～2020年度に入学した学生用）
- 【資料5-3】 修得科目確認表（2019年度以降入学生及び科目等履修生用）経済
- 【資料5-4】 修得科目確認表（2019年度以降入学生及び科目等履修生用）スポーツ
- 【資料6】 令和3年度後期実施 事前事後指導のスケジュール（案）

4年生

- 【資料1】 教職履修カルテの入力について
- 【資料2】 履修カルテ 操作説明書
- 【資料7】 教員採用試験・進路決定の報告について（依頼）
- 【資料8】 教職実践演習のスケジュール（案）

教職履修カルテの入力について《重要》

教職履修カルテについては、教職課程を履修する全学生が必ず行う必要があります。別紙の「履修カルテ 操作説明書」に従って、UNIPA上で、下記の期間中に入力完成了させてください。入力していないと4年生後期開講の「教職実践演習（中・高）」が受講できなくなります。また、教職課程履修願を未提出の場合は入力できません。

特に4年生は、後期の「教職実践演習（中・高）」受講要件となりますので、新規に入力事項がない場合でも、改めて内容の確認をして、必ず確定ボタンをおしてください。

なお、入力方法等、不明な点は教務課へお尋ねください。

記

【入力について】

- ①入力要領については、別紙『履修カルテ 操作説明書』で確認して入力してください。
 ②教職履修カルテの入力項目は以下の5つです。自己を振り返って、入力を行ってください。
 なお、科目等履修生も入力が必要です。

1	目標設定	今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、現在の学年欄について、今年度の目標を入力してください。 なお、科目等履修生は、1年次の欄に記入してください。
2	資格関連科目 修得状況	今年度前期を振り返って、入力してください。 なお、科目等履修生は、画面に科目の掲載がある場合、記入してください。
3	学外活動に関する科目	今年度前期を振り返って、入力してください。特に書くことがない場合は、記入の必要はありません。 なお、科目等履修生も同様です。
4	必要な資質能力についての自己評価	<p>【1年生】 来年度前期に今年度分を振り返って入力します。（今回は、この項目に関して入力は不要です。）</p> <p>【2・3年生】 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、前年度分（前の学年）を振り返って、入力してください。（現2年生は、1年生の欄に入力。現3年生は2年生の欄に入力すること。）</p> <p>【4年生】 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、前年度分（前の学年）を振り返って、入力してください。（3年生の欄に入力。） また、4年生前期を振り返って4年生の欄に入力してください。</p> <p>【科目等履修生】 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、前年度分（前年度）を振り返って、入力してください。（1年生の欄に入力）</p>
5	教職を目指す上での課題・対策	<p>【1～4年生及び科目等履修生】 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、今年度分を入力してください。</p>

- ③入力後は、必ず確定ボタンを押してください。また、一旦ログアウトして、再度ログインして、正しく登録されているか確認してください。

【入力期間・学内利用可能場所について】

9月14日（火）9：00～16：00 S333, S354, S364, S424, S432

9月15日（水）9：00～16：00 S364

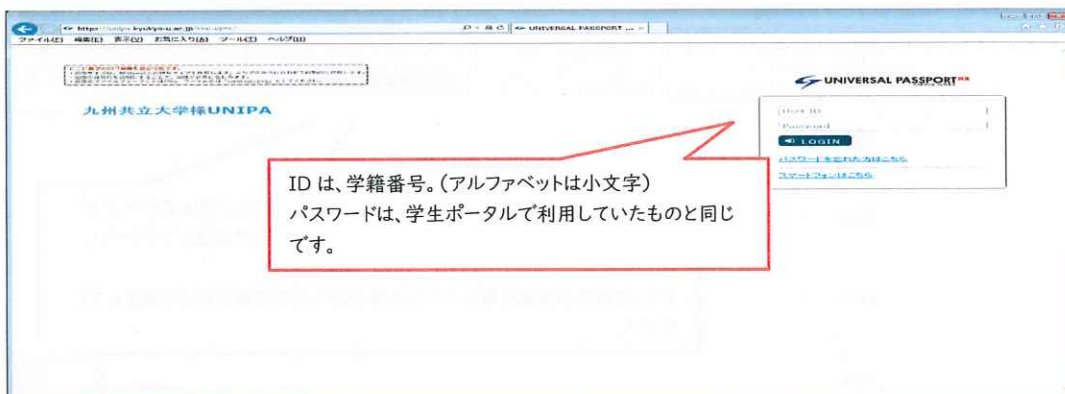
（ネット環境のあるパソコンからであれば自宅等からも入力可能です。）

以上

履修カルテ 操作説明書

1. UNIVERSAL PASSPORT にアクセスし、ID およびパスワードを入力。

ULR <https://unipa.kyukyo-u.ac.jp/kku-uprx/>



2. 上部のメインメニューの[履修カルテ]より、[履修カルテ登録]を選択します。その後、学籍番号を入力し、検索ボタンを押してください。



3.【履修カルテ登録】画面が表示されます。

①『基本情報』タブを押下し、『目標設定』エリアを設定します。

提出受付中

[提出受付中]になっているときに学生は履修カルテの更新が可能です。

PDF/Excel 形式で履修カルテのダウンロードが可能です。

2019年度以前に入学した学生については、以前のシステムのデータが、全て1年次の枠に登録されているため、必要に応じて修正してください。

また、改行等の体裁も現システムの枠に合わせて必要に応じて修正してください。

一定時間画面操作がない場合、ログアウトされ、保存を押していない入力内容は破棄されますので定期的に一時保存をしてください。

②『資格関連科目 修得状況』エリアでは、プルダウンから資格を選択すると、下部に資格関連科目で修得した科目の一覧が表示されます。

資格 **教職希望(スポーツ)**

科目	単位数	修得年度学期	担当教員	要点	学修の振り返り
バドミントン	1.0	2018年度前期	田島 さと		A

学修の振り返り

- ・学修の振り返りを入力してください。
- ・2019年度以前に入学した学生は、今まで自己評価を A~E でおこなった上で、コメントを書いてきましたが、今後は、コメントのみの入力です。
- ・入力可能文字数は半角 200 文字までです。(全角は 2 文字でカウントします。)
- ・2019年度以前に入学した学生は、以前のシステムに制限文字数以上の入力があったものについては、200 文字以降が切り捨てられているため、修正してください。

③『学外活動に関する記録』エリアを設定します。行追加をクリックすると入力エリアが表示されます。

学外活動に関する記録

活動期間	活動内容/総括
2019/09/02 ~ 2019/09/06	・社会福祉施設にて毎日の食事の世話や、入浴の際の補助を行った。

行追加

④『自己評価』タブを押下し、『必要な資格能力についての自己評価』エリアを設定します。

資格プルダウンから資格を選択し、各指標の自己評価を入力します。

基本情報 自己評価

必要な資格能力についての自己評価

資格 教員免許状・スポーツカルテ

A: 目標達成度80%以上 (達成している) B: 目標達成度60%以上80%未満 (達成に近づきつつある) C: 目標達成度40%以上60%未満 (中間的段階である) D: 目標達成度20%以上40%未満 (初歩的段階から進歩) E: 目標達成度20%未満 (初歩的段階)

評価分類	評価項目	指標	1年次	2年次	3年次
学校教育についての理解	教職の意義・役割	教職の意義、理念を理解しているか			
	教育史、教育思想についての素養	教育の歴史、教育思想について基礎的な素養を修得できているか			
児童生徒に対する責務	学校教育の社会的役割についての理解	学校教育の社会的責務、教員の職務内容を理解しているか			
	教師としての責務	児童・生徒に対する教師としての責務を理解しているか			
	心理・発達の理解	児童・生徒を心理・発達の知識で理解する素養を修得できているか			

以下の項目の自己評価を入力して下さい。

A 目標達成度80%以上 (達成している)
 B 目標達成度60%以上80%未満 (達成に近づきつつある)
 C 目標達成度40%以上60%未満 (中間的段階である)
 D 目標達成度20%以上40%未満 (初歩的段階から一定の進歩がみられる)
 E 目標達成度20%未満 (初歩的段階)

⑤『教職を目指す上での課題・対策』エリアを設定します。

教職を目指す上での課題・対策

対象学年	教職を目指す上での課題・対策
1年次	
2年次	
3年次	

2019年度以前に入学した学生は、以前のシステムのデータは全て1年次の枠に登録されているため、必要に応じて修正してください。

⑥履修カルテの入力が完了したら【確定】をクリックしてください。

一時保存

確定

一時保存だけでは提出されないため、必ず確定を押してください。

教育実習について

教育実習は、教員をめざす学生が教壇に立ち、教員としての業務を体験する実習科目です。通常の実習科目と異なるのは、実習場所が大学内ではなく、外部の中学校や高校で行う点です。そのため、教育実習を履修するために、まず授業体験を受け入れてくれる中学校や高校（以下、実習校）を決める必要がありますが、実習校にとって教育実習は、授業進行の遅れや指導教員の負担につながるなど、必ずしも歓迎できるものではないところがあります。

しかしながら、教員育成という立場から、実際には多くの学校が快く教育実習を受け入れていますので、教育実習を履修する学生は、教員になるという強い意思と実習校に対する感謝の念をもって教育実習に臨んでほしいと思います。

【教育実習における留意事項】

実習校は、皆さんが将来必ず教員になることを前提に、実習の受け入れをしています。そのため、実習にあたっては以下のことに留意してください。

(1) 教育実習先について

実習受け入れは、実習校と九州共立大学（以下、本学）の学校間の契約として成立します。つまり、本学は公的に実習生を実習校に送ることから、実習生個人の判断で実習先を変更したり、取りやめたりすることはできません。

※実習について相談すべきことが生じたときは、まずは本学の教職担当教員もしくは教務課に相談してください。実習校に直接相談はしないでください。

(2) 教育実習日程について

内諾(仮契約)の時点で決定した実習日程は、いかなる理由があっても変更できません。また、教育実習期間中に、課外活動の大会や就職試験等が重なっても、実習校にこのような理由により休みを申し出ることはできません。したがって、教育実習の日程については、そうした個人的な用事と重ならないか、各自が事前に十分な注意を払う必要があります。なお、内諾の日程については、各自、教務課で確認するようにしてください。

(3) 教育実習期間中の就職活動および課外活動について

教育実習は、教員になることを前提にしていますので、教育実習期間中の就職活動および課外活動はできません。

(4) 実習校の正式な決定について

実習校から内諾書が届いた時点で、本学との仮契約の状態になります。その後、実習年度の4月に本学より実習校に承諾申請をおこなうことで、正式の契約となります。

【補足事項】

3年生後期終了時までには、教育実習の内規に合格できない場合、その後、内規に合格すれば、卒業後に「科目等履修生」として、「教育実習」を履修することができます。「科目等履修生」については、教務課に相談すること。

教職課程履修要件内規について（2018 年度以前に入学した学生用）

1. 教職課程履修要件内規について

3 年次終了時に教職課程履修要件審査があるので、以下の要件を確認してください。また、誓約書に反する行動等があった場合や実習校から受け入れにふさわしくないと判断された場合も教育実習を履修することができなくなります。

なお、2018 年度以前の入学生に配布した履修ガイドに記載した内規の変更がありますので、既に前年度中に周知した変更も含め、改めてお知らせいたします。

教職課程履修要件内規一部改正新旧対照表

《経済学部》

新	旧
<p>経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 3 年次終了までに、〈教科に関する科目〉から教免必修科目を含む 28 単位以上、〈教職に関する科目〉のうち教科教育法を含む 14 単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表キ（第 7 条関係）に定める全科目（免許法施行規則第 66 条の 6 に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、<u>上記教職関連全科目を含む 3 年次終了までの GPA(成績評価値)2.0 以上であること。</u></p> <p><u>(2) 4 年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を 3 年後期に受けていること。</u></p> <p>(3) 学則第 39 条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>	<p>経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 3 年次終了までに、〈教科に関する科目〉から教免必修科目を含む 28 単位以上、〈教職に関する科目〉のうち教科教育法を含む 14 単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表キ（第 7 条関係）に定める全科目（免許法施行規則第 66 条の 6 に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、<u>上記教職関連全科目の 3 年次終了までの GPA(成績評価値)2.0 以上であること。</u></p> <p><u>(2) 3 年次後期に開講している「事前事後指導（教育方法論）」を受講していること。</u></p> <p>(3) 学則第 39 条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>

※GPA については、履修ガイドに計算方法が示されています。各自、確認の上、内規要件を満たすよう留意してください。

教職課程履修要件内規一部改正新旧対照表

《スポーツ学部》

新	旧
<p>スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。 ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ(教科に関する科目)に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。</p> <p>(2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道德教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。 なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。</p> <p>(3) <u>4年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を3年後期に受けていること。</u></p> <p>(4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>	<p>スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。 ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ(教科に関する科目)に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。</p> <p>(2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道德教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。 なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。</p> <p>(3) <u>3年次後期に開講している「事前事後指導（保健体育科教育法Ⅳ）」を受講していること。</u></p> <p>(4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>

教職課程履修要件内規について（2019～2020 年度に入学した学生用）

1. 教職課程履修要件内規について

3 年次終了時に教職課程履修要件審査があるので、以下の要件を確認してください。また、誓約書に反する行動等があった場合や実習校から受け入れにふさわしくないと判断された場合も教育実習を履修することができなくなります。

なお、2019～2020 年度の入学生に配布した履修ガイドに記載した内規の変更がありますので、既に前年度中に周知した変更も含め、改めてお知らせいたします。

教職課程履修要件内規一部改正新旧対照表

《経済学部》

新	旧
<p>経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 3 年次終了までに、〈教科に関する専門的事項〉から教免必修科目を含む 28 単位以上、<u>〈各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）〉</u>〈教育の基礎的理解に関する科目〉〈道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目〉のうち教科教育法を含む 14 単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表カ（第 7 条関係）に定める全科目（免許法施行規則第 66 条の 6 に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、<u>上記教職関連全科目を含む 3 年次終了までの GPA（成績評価値）が 2.0 以上であること。</u></p> <p>(2) <u>4 年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を 3 年後期に受けていること。</u></p> <p>(3) 学則第 39 条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>	<p>経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 3 年次終了までに、〈教科に関する専門的事項〉から教免必修科目を含む 28 単位以上、〈教育の基礎的理解に関する科目〉〈道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目〉のうち教科教育法を含む 14 単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表カ（第 7 条関係）に定める全科目（免許法施行規則第 66 条の 6 に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、<u>上記教職関連全科目の 3 年次終了までの GPA（成績評価値）が 2.0 以上であること。</u></p> <p>(2) 3 年後期に開講している「事前事後指導（教育方法論）」を受講していること。</p> <p>(3) 学則第 39 条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>

※GPA については、履修ガイドに計算方法が示されています。各自、確認の上、内規要件を満たすよう留意してください。

教職課程履修要件内規一部改正新旧対照表

《スポーツ学部》

新	旧
<p>スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ(教科に関する専門的事項)に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。</p> <p>(2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「特別活動指導法」「特別支援教育概論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道德教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。 なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。</p> <p>(3) <u>4年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を3年後期に受けていること。</u></p> <p>(4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>	<p>スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ(教科に関する専門的事項)に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。</p> <p>(2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「特別活動指導法」「特別支援教育概論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道德教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。 なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。</p> <p>(3) <u>3年後期に開講している「事前事後指導（保健体育科教育法Ⅳ）」を受講していること。</u></p> <p>(4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
- ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

(ふりがな)

学籍番号 A 氏名

別表ア (第3、4条関係)

経済学部 経済・経営学科

九州共立大学
教職課程履修規程

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数	
	科目	各科目に含める必要な事項			必修	教免 必修	選択	1年		2年		3年		4年		
								前	後	前	後	前	後	前		後
中 一 種 免 (社 会)	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	1 単位	日本史(教)	2			2							6 単位以上	
				西洋史(教)	2		2									
				東洋史(教)	2		2									
				経済史		2		2								
				経営史		2			2							
				日本経営史		2				2						
				日本経済史		2				2						
				経済学史		2				2						
				近代日本経済史		2					2					
				西洋経済史		2						2				
			東洋経済史		2						2					
			1 単位	自然地理学概論(教)	2				2						6 単位以上	
				地誌学(教)	2						2					
				人文地理学概論(教)	2			2								
				都市経済学	2							2				
				地域経済論	2							2				
			1 単位	法律学概論(国際法を含む)(教)	2				2					2 単位以上		
				民法(総則・物権)	2				2							
				民法(債権)	2				2							
				行政法(作用法・組織法)	2							2				
				行政法(救済法)	2							2				
			1 単位	労働と法	2							2		6 単位以上		
				マクロ経済学入門	2			2								
				マクロ経済学	2				2							
				ミクロ経済学入門	2			2								
				ミクロ経済学	2				2							
				統計学入門	2			2								
				統計学	2				2							
				医療・福祉マネジメント	2							2				
				経済政策入門	2				2							
				経済政策	2							2				
				財政学入門	2				2							
				財政学	2					2						
				日本経済論入門	2				2							
				日本経済論	2					2						
				社会保障論	2							2				
				経済統計	2						2					
				国際経済学	2							2				
				産業組織論入門	2						2					
				産業組織論	2							2				
				経済学概論	2		2									
			公共経済学入門	2						2						
公共経済学	2							2								
環境経済学入門	2							2								
環境経済学	2							2								
1 単位	哲学、倫理学、宗教学	1 単位			2		2				2 単位以上 いずれか1科目 教免必修					
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	1 単位			4				4		8 単位					
					4				4							
合計			30単位									36単位以上				

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→ 単位

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表 イ（第3、4条関係）

経済学部 経済・経営学科

学籍番号	A	(ふりがな) 氏名
------	---	--------------

九州共立大学
教職課程履修規程

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法に 定める 最低 単位数	授業科目	単位数			年次配当時間数				本学最低 修得単位数	
	科目	各科目に含める必要な事項			必修	教 必修	選択	1年	2年	3年	4年		
								前	後	前	後		前
高 一 種 免 (地理歴史)	教科及び教科の 指導法に関する科目 教科に関する 専門的事項	日本史	1単位	日本史(教)	2			2					2単位以上
				日本経営史		2				2			
				日本経済史		2				2			
				近代日本経済史		2				2			
		外国史	1単位	西洋史(教)		2		2					4単位以上
				東洋史(教)		2		2					
				経済史		2			2				
				経営史		2			2				
				経済学史		2				2			
				西洋経済史		2					2		
		人文地理学 ・ 自然地理学	1単位	人文地理学概論(教)		2			2				4単位以上
				自然地理学概論(教)		2			2				
	人口学				2			2					
	地域経済論				2					2			
	交通論				2						2		
	地誌	1単位	都市経済学		2					2		2単位以上	
			地誌学(教)		2					2			
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		1単位	社会科・地理歴史 科 教育 法	4					4		4単位	
合計		30単位									40単位以上		

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→	単位
---------------------------------------	----

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
- ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表ウ (第3、4条関係)

学籍番号	A	(ふりがな) 氏名
------	---	--------------

経済学部 経済・経営学科

九州共立大学
教職課程履修規程

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数			年次配当時間数								本学最低 修得単位数													
	科目	各科目に含める必要な事項			必修	教 必修	選 修	1年		2年		3年		4年															
								前	後	前	後	前	後	前	後														
高 一 種 免 (公 民)	教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	「法学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	1単位	法律学概論(国際法を含む)(教)	2			2																	2単位以上				
				民法(総則・物権)				2																					
				民法(債権)					2																				
				行政法(作用法・組織法)										2															
				行政法(救済法)																					2				
				労働と法																					2				
			「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	1単位	マクロ経済学入門	2				2																	8単位以上		
		マクロ経済学								2																			
		ミクロ経済学入門								2				2															
		ミクロ経済学								2				2															
		統計学入門												2															
		統計学													2														
		医療・福祉マネジメント																								2			
		経済政策入門																								2			
		経済政策																								2			
		財政学入門																								2			
		財政学																								2			
		日本経済論入門																								2			
		日本経済論																								2			
		社会保障論																								2			
		経済統計																								2			
		国際経済学																								2			
		産業組織論入門																								2			
		産業組織論																								2			
		経済学概論																						2					
		公共経済学入門																						2					
		公共経済学																						2					
		環境経済学入門																						2					
環境経済学																						2							
	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	1単位	哲学概論(教)																					2単位以上 いずれか1科目 教免必修					
			倫理学概論(教)																										
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	1単位	社会科・公民科 教育法	4																		4		4単位					
	合計	30単位																						40単位以上					

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→	単位
---------------------------------------	----

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
 ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表工 (第3、4条関係)

学籍番号	A	(ふりがな) 氏名
------	---	--------------

経済学部 経済・経営学科

九州共立大学
教職課程履修規程

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数	年次配当時間数								本学最低 修得単位数		
	科目	各科目に含める必要な事項				1年		2年		3年		4年				
						必修	選択	前	後	前	後	前	後			
高 一 種 免 (商 業)	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	商業の関係科目	1単位	簿記入門	2		2								10単位以上
					初級簿記	4		4								
					中級簿記	4		4								
					上級簿記	4		4								
					会社法	2		2								
					商法総則	2		2								
					金融論入門	2		2								
					金融論	2					2					
					国際金融論	2							2			
					経営戦略論	2							2			
					経営管理論	2								2		
					財務管理論	2								2		
					マーケティング論	2							2			
					生産管理論	2								2		
					流通管理論	2							2			
					販売管理論	2							2			
					管理会計論	2							2			
会計監査論	2								2							
税務会計論	2								2							
人的資源管理論	2								2							
	職業指導	1単位	職業指導(教)	4					2	2		4単位以上				
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	1単位	商業科教育法	4					4			4単位				
	合計	30単位										40単位以上				

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ 単位

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
- ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

免許 教科		施行規則等に定める 科目区分等		免許法に 定める 最低 単位数	授業科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数	
						必修	教免 必修	選択	1年		2年		3年		4年		
									前	後	前	後	前	後	前		後
中一 種免	教育の 基礎的 理解に 関する 科目	教育の理念並びに教育 に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、 制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校 安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カ リキュラム・マネジメントを含む。)	10単位	教育原論	2		2									11単位	
				教職論	2		2										
				教育制度論	2		2										
				教育心理学	2		2										
				特別支援教育概論	1			1									
				教育課程論	2				2								
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 教育の方法及び技術(情報機 器及び教材の活用を含む。) 特別活動の指導法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基 礎的な知識を含む。)の理論及び方法	中一 種 10単位 高一 種 8単位	道徳教育指導法	中2			中2							中一 種 10単位 高一 種 8単位		
				教育方法論 (総合的な学習の時間 の指導法を含む。)	2				2								
				特別活動指導法	2				2								
				生徒・進路指 導論	2					2							
				教育相談	2					2							
				教育実習 I	2									集中			
	教育実践に 関する 科目	教育実習 学校体験活動 教職実践演習	中一 種 5単位 高一 種 3単位 2単位	教育実習 II	2								集中	中一 種 7単位 高一 種 5単位			
				事前事後指導	1								1				
				教職実践演習 (中・高)	2										2		
				合計	中一 種 27単位、高一 種 23単位								中一 種 28単位、高一 種 24単位				
					中一 種 免 59単位、高一 種 59単位								中一 種 64単位、高一 種 64単位				

九州共立大学
教職課程履修規程

※経済学部が独自に定める教職課程履修要件を満たさなければ教職実践に関する科目の履修はできない。
※(教)は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→	単位
---------------------------------------	----

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表カ（第7条関係）

学籍番号	A	(ふりがな) 氏名
------	---	--------------

免許法施行規則第66条の6に関する科目（経済学部・スポーツ学部）

免許教科	免許法施行規則第66条6に定める科目区分	免許法に定める最低単位数	本学開講科目	単位数 必修 教免必修 選択	年次配当時間数								本学最低修得単位数	
					1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
中一種免・高一種免（全教科）	日本国憲法	2単位	現代国家と法（日本国憲法）	2	2or2									
	体育	2単位	健康の科学	2	2or2									経済学部のみ
			体力トレーニング論	2				2						スポーツ学部のみ
			スポーツA	1	2									経済学部のみ いずれか1科目 教免必修
			スポーツB	1	2									
	外国語 コミュニケーション	2単位	英語コミュニケーションI	1			2							
			英語コミュニケーションII	1				2						
	情報機器 の操作	2単位	情報処理演習I	1		2								
情報処理演習II			1			2								

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→ 単位

九州共立大学
教職課程履修規程

記入例

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
- ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表ア（第3、4条関係）

(ふりがな) きゅうきょう たろう

学籍番号 19A0001 氏 名 九共 太郎

経済学部 経済・経営学科

九州共立大学
教職課程履修規程

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数 必修 教免 選択	年次 配 当 時 間 数								本学最低 修得単位数
	科目	各科目に含める必要な事項				1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
中 一 種 免 (社 会)	日本史・ 外国史	1単位	日本史(教)	2									6単位以上	
			西洋史(教)	2										
			東洋史(教)	2										
			経済史	2			2							
			経営史	2				2						
			日本経営史	2					2					
			日本経済史	2					2					
			経済学史	2					2					
			近代日本経済史	2						2				
			西洋経済史	2						2				
	東洋経済史	2						2						
	地理学 (地誌を含む。)	1単位	自然地理学概論(教)	2			2						6単位以上	
			地誌学(教)	2						2				
			人文地理学概論(教)	2			2							
			都市経済学	2						2				
			地域経済論	2						2				
	「法学、 政治学」	1単位	法律学概論(国際法を含む。)(教)	2			2						2単位以上	
			民法(総則・物権)	2			2							
			民法(債権)	2				2						
			行政法(作用法・組織法)	2					2					
			行政法(救済法)	2						2				
	「社会学、 経済学」	1単位	マクロ経済学入門	2			2						6単位以上	
			マクロ経済学	2				2						
			ミクロ経済学入門	2				2						
			ミクロ経済学	2					2					
			統計学入門	2				2						
			統計学	2					2					
			医療・福祉マネジメント	2						2				
			経済政策入門	2					2					
			経済政策	2						2				
			財政学入門	2				2						
			財政学	2					2					
			日本経済論入門	2				2						
			日本経済論	2					2					
			社会保障論	2						2				
			経済統計	2					2					
			国際経済学	2						2				
			産業組織論入門	2					2					
			産業組織論	2						2				
			経済学概論	2		2								
			公共経済学入門	2					2					
	公共経済学	2						2						
環境経済学入門	2						2							
環境経済学	2						2							
「哲学、倫理 学、宗教学」	1単位	哲学概論(教)	2			2					2単位以上 いずれか1科目 教免必修			
		倫理学概論(教)	2				2							
各教科の指導法(情報機器 及び教材の活用を含む。)	1単位	社会科・地理歴史科教育法	4					4			8単位			
		社会科・公民科教育法	4						4					
合計		30単位										36単位以上		

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→ 30 単位
—64—

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
- ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表 オ (第3、4条関係)

学籍番号	A	(ふりがな)	
		氏名	

スポーツ学部 スポーツ学科

九州共立大学
教職課程履修規程

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数 必修 教 必修 免 選択	年次配当時間数								本学最低 修得単位数			
	科目	各科目に含める必要な事項				1年		2年		3年		4年					
						前	後	前	後	前	後	前	後				
中一 種免・高 一 種免 (保健体育)	体育実技	1単位	1単位	体操(体づくり運動を含む。)	1	2or2									10単位以上 剣道と柔道 はいずれか 1科目教免 必修		
				器械運動	1			2or2									
				陸上競技A	1	2or2											
				陸上競技B	1			2or2									
				水泳	1			2or2									
				バスケットボール	1	2or2											
				バレーボール	1	2or2											
				サッカー	1	2or2											
				ハンドボール	1						2						
				ラグビー	1						2						
				ソフトボール・野球	1						2or2						
				テニス	1						2or2						
				バドミントン	1						2or2						
				ダンス	1						2or2						
				剣道	1						2or2						
	柔道	1						2or2									
	キャンプ		1											集中			
	スノースポーツ		1											集中			
	「体育原理、体 育心理学、体 育経営管理学、 体育社会学、 体育史」・運動 学(運動方法を 含む。)	1単位	1単位	1単位	スポーツ運動学(運動方法学を含む。)	2	2								10単位以上		
					スポーツ心理学	2	2										
					学校体育のマネジメント	2				2							
					スポーツ社会学	2	2										
					スポーツ学概論	2	2										
					スポーツの歴史と文化	2										2	
	生理学(運動 生理学を含 む。)	1単位	1単位	1単位	解剖生理学	2	2							4単位以上			
					スポーツ生理学	2	2										
					スポーツ栄養学	2			2								
					スポーツバイオメカニクス	2	2										
衛生学・公衆衛生学	1単位	1単位	1単位	1単位	衛生学及び公衆衛生学	2	2					2単位					
学校保健(小児 保健、精神保健、 学校安全及び救 急処置を含む。)	1単位	1単位	1単位	救急法実習	1			2or2					5単位以上				
				学校保健Ⅰ(学校安全を含む。)	2				2								
				学校保健Ⅱ(小児保健・精神保健を含む。)	2					2							
				スポーツ医学	2	2		2									
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	1単位	1単位	1単位	保健体育科教育法Ⅰ	2			2					I~IV 8単位				
				保健体育科教育法Ⅱ	2				2								
				保健体育科教育法Ⅲ	2					2							
				保健体育科教育法Ⅳ	2						2						
合計			30単位										44単位以上				

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→ 単位

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号	A	(ふりがな) 氏 名
------	---	---------------

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数			年次配当時間数				本学最低 修得単位数				
	科目	各科目に含める必要な事項			必修	教 免 必修	選択	1年		2年			3年		4年	
								前	後	前	後		前	後	前	後
中一 種 免 ・ 高 一 種 免 (保 健 体 育)	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10 単位	教育原論	2			2						11 単位		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	2		2									
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度論	2			2								
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2			2								
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	1			1								
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2				2							
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中一 種 10 単位 高 一 種 8 単位	道徳教育指導法	中2						中2			中一 種 10 単位 高 一 種 8 単位		
		総合的な学習の時間の指導法		教育方法論(総合的な学習の時間の指導法を含む。)	2						2					
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		特別活動指導法	2						2					
		特別活動の指導法		生徒・進路指導	2						2					
教育実践に関する科目	教育実践	中一 種 5 単位 高 一 種 3 単位	教育実習Ⅰ	2							集中	中一 種 7 単位 高 一 種 5 単位				
			教育実習Ⅱ	中2							集中					
	学校体験活動	事前事後指導	1							1						
	教職実践演習	2 単位	教職実践演習(中・高)	2							2					
合計			中一種免 27 単位、高一種免 23 単位									中一種 28 単位 高一種 24 単位				
			中一種免、高一種免 59 単位									中一種 72 単位 高一種 68 単位				

九州共立大学
教職課程履修規程

※スポーツ学部が独自に定める教職課程履修要件を満たさなければ教職実践に関する科目の履修はできない。

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→	単位
---------------------------------------	----

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表カ（第7条関係）

学籍番号	A	(ふりがな) 氏名
------	---	--------------

免許法施行規則第66条の6に関する科目（経済学部・スポーツ学部）

免許教科	免許法施行規則第66条6に定める科目区分	免許法に定める最低単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低修得単位数				
				必修	教免必修	選択	1年		2年		3年		4年					
							前	後	前	後	前	後	前		後			
中一種免・高一種免（全教科）	日本国憲法	2単位	現代国家と法（日本国憲法）	2			2 or 2											
	体育	2単位	健康の科学	2			2 or 2											経済学部のみ
			体力トレーニング論	2						2								スポーツ学部のみ
			スポーツA		1	2												経済学部のみ
			スポーツB		1	2												いずれか1科目教免必修
	外国語コミュニケーション	2単位	英語コミュニケーションI	1					2									
			英語コミュニケーションII	1						2								
	情報機器の操作	2単位	情報処理演習I	1			2											
			情報処理演習II	1				2										

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→ 単位

九州共立大学
教職課程履修規程

記入例

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表 ア (第3、4条関係)

(ふりがな) きゅうきょう たろう

学籍番号 19A0001 氏名 九共 太郎

経済学部 経済・経営学科

九州共立大学
教職課程履修規程

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数			年次配当時間数								本学最低 修得単位数
	科目	各科目に含める必要な事項			必修	教 必修	選 択	1年		2年		3年		4年		
								前	後	前	後	前	後	前	後	
中 一 種 免 (社 会)	日本史・ 外国史	1単位	日本史(教)	2			2								6単位以上	
			西洋史(教)	2			2									
			東洋史(教)	2			2									
			経済史	2		△		2								
			経営史	2					2							
			日本経営史	2							2					
			日本経済史	2						2						
			経済学史	2						2						
			近代日本経済史	2								2				
			西洋経済史	2								2				
	東洋経済史	2								2						
	地理学 (地誌を含む。)	1単位	自然地理学概論(教)	2					2						6単位以上	
			地誌学(教)	2								2				
			人文地理学概論(教)	2					2							
			都市経済学	2								2				
			地域経済論	2								2				
	「法学、 政治学」	1単位	法律学概論(国際法を含む。)(教)	2					2						2単位以上	
			民法(総則・物権)	2					2							
			民法(債権)	2						2						
			行政法(作用法・組織法)	2							2					
			行政法(救済法)	2								2				
	「社会学、 経済学」	1単位	マクロ経済学入門	2				2							6単位以上	
			マクロ経済学	2					2							
			ミクロ経済学入門	2					2							
			ミクロ経済学	2						2						
			統計学入門	2					2							
			統計学	2						2						
			医療・福祉マネジメント	2								2				
			経済政策入門	2						2						
			経済政策	2								2				
			財政学入門	2						2						
			財政学	2							2					
			日本経済論入門	2						2						
			日本経済論	2							2					
			社会保障論	2									2			
			経済統計	2							2					
			国際経済学	2								2				
			産業組織論入門	2								2				
			産業組織論	2									2			
			経済学概論	2		2										
			公共経済学入門	2								2				
	公共経済学	2									2					
	環境経済学入門	2								2						
	環境経済学	2									2					
	「哲学、倫理 学、宗教学」	1単位	哲学概論(教)	2					2					2単位以上 いずれか1科目 教免必修		
倫理学概論(教)			2						2							
各教科の指導法(情報機器 及び教材の活用を含む。)	1単位	社会科・地理歴史科教育法	4							4			8単位			
		社会科・公民科教育法	4								4					
合計		30単位											36単位以上			

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→ 30 単位

令和 3 年度後期実施 事前事後指導のスケジュール (案)

2021.09.02 現在

事前事後指導 (19A 学生) ※履修登録は令和 4 年度となる		
1	9/27 (月) 1 限	オリエンテーション・履修カルテの目標設定の見直し (実習先の自治体が表示教職員育成指標に基づいて考える) 【B404 教室】
2	10/4 (月) 1 限	演習① 「教育実習の手引」を活用した指導 (サービス・マナー等)
3	10/11 (月) 1 限	演習② 「教育実習の手引」を活用した指導 (生徒指導・学級経営等)
4	10/18 (月) 1 限	演習③ 授業づくりのポイント
5	10/25 (月) 1 限	演習④ (6 グループ) グループ分け、課題提示
6	11/8 (月) 1 限	演習④ (6 グループ) グループワーク (発表準備)
7	11/15 (月) 1 限	演習④ (6 グループ) グループワーク (発表準備)
8	11/20 (土) 1 限	集中講義① (6 グループ) 3・4 年合同授業研究会
9	11/20 (土) 2 限	集中講義② (6 グループ) 3・4 年合同授業研究会
10	11/20 (土) 3 限	集中講義③ 3・4 年合同シンポジウム (複数会場での開催を検討)
11	11/20 (土) 4 限	集中講義④ 3・4 年合同シンポジウム (複数会場での開催を検討)
12	11/20 (土) 5 限	集中講義⑤ 1 日の振り返り (複数会場での開催を検討)
13	11/29 (月) 1 限	演習⑤ 外部講師による講話 (調整中)
14	12/6 (月) 1 限	演習⑥ 教育実習に関連する注意事項や心得 (過去の先輩たちの事例を参考に)
15	令和 4 年度前 期	前期教職ガイダンス後の直前指導 (全員) +事後指導: 事後レポートの提出

※状況により、スケジュール及び実施内容を変更することがある。

・第 2 回以降の教室は、決定次第 Microsoft teams 及び授業内で連絡する。